

第2学年5組 道徳学習指導案

平成28年11月2日(水)第5校時

授業者 T1 教諭 真崎 孝博

T2 教諭 佐藤 渉

- 1 主題名 生きることの気高さ 内容項目〔D よりよく生きる喜び〕
資料名 「天使の声」(出典:「彩の国の道徳『心の絆』」埼玉県教育委員会)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目D(22)は、人間として生きることに喜びを見いだすように努めることである。ありのままの人間は決して完全なものではないが、弱さや醜さを克服する強さや気高さがある。人間として生きることへの喜びや人間の行為の美しさに気付いたとき、人間は強く、気高い存在になることができる。それは自己満足ではなく、他人から認められる喜びでもあり、人間としての誇りをもって、同じ人間として共に生きていくことへの深い喜びでもある。

中学生のこの時期になると、人間の中に弱さや醜さをもつと同時に、強さや気高さをもっていることが理解できるようになってくる。しかしその一方で、なかなか自分に自信がもてない部分もある。どの生徒においてもよりよく生きたいと願う気持ちはもっている。したがって、誰に対しても人間としてのよさを見いだしていく態度を育てていくことが大切である。そこで、人間のありのままの姿を通して、人間に対して共感的に理解し、人間としての気高さを追い求め、人間としてのよさを見いだす大切さを考えさせたい。

(2) 生徒の実態について

生徒は、生命そのもの、人間が活着していることの尊さを大切なものであると感じている。それは、身近な人(肉親)との間で感じていることが多い。一方、現実には身近な人だけでなく、多くの人々によって支え合いながら活着している。多方面からそれらの大切さを感じられてこそ、真の「人間の尊さ」に迫ることができるものである。本時においては、人間の尊さについて自覚するために『天使の声』の資料を通して価値の補充を行う。また、日常の生活の中で実践していけるように、この授業を通して価値を深化し、今回考えたことを日常に活かすことで価値の統合をしていく。

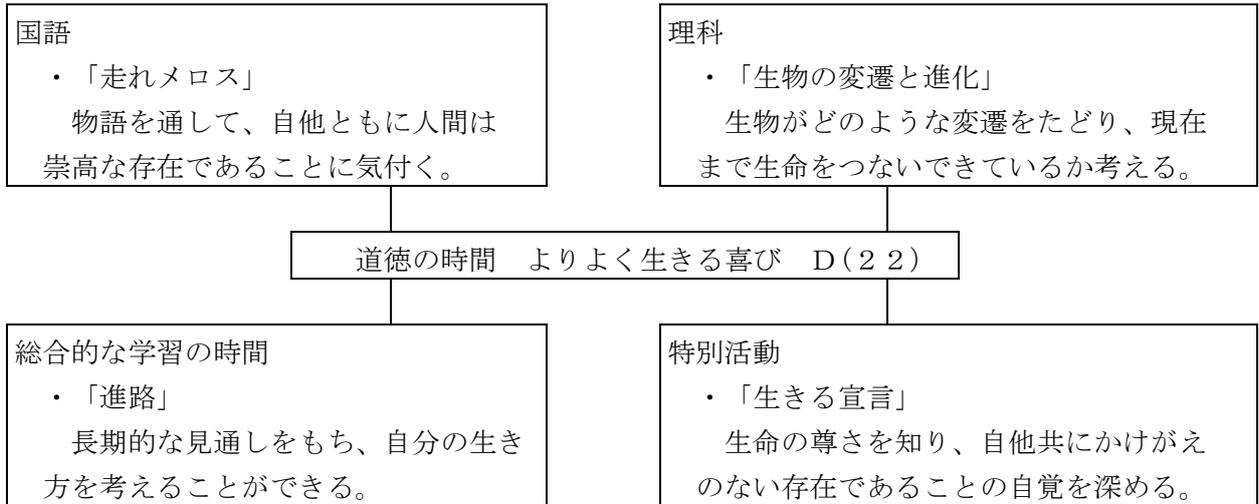
(3) 資料の活用について

この資料は平成23年3月11日発生した東日本大震災で被災し、津波の被害によって亡くなられた宮城県南三陸町職員、遠藤未希さんの行動について綴ったものである。遠藤さんは津波警報が発令される中、住民に避難を防災無線で呼びかけ続け、自らが津波に襲われ命を落としてしまった。遠藤さんの行動を通して、ご両親や職場の同僚たち、防災無線によって命が助かった町民の気持ちにふれ、自らの生き方について考えさせたい。

3 本時のねらい

人間には強さがあることを信じて、人間としての誇りをもって生きていこうと努める態度を育成する。

4 他の教育活動等との関連



5 学習指導過程

事前	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を配付し読み聞かせする。 ○資料に直接関係するテレビのドキュメント番組を視聴する。 ○グループ内で考える立場を決定し、考えを道徳ノートにまとめておく。
----	--

	学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	<p>1 本時の目標を提示する。</p> <p>2 状況の説明を行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・本時の価値についてのイメージをもたせる。 ・資料の状況を把握させる。
展	<p>3 資料「天使の声」から「生きることの気高さ」について考える。</p>		
開	<p>①町民の思いを考える。</p>	<p>◎津波で命を落とした遠藤さんの葬儀に駆けつけた人はどのような思いだったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの無線があったから、生き延びることができた。 ・なぜ逃げなかったのだろうか。 ・残念だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民が遠藤さんの死を悼む気持ちに迫り、人間の存在の大切さに気付かせる。

	<p>②両親の思いを考える。</p> <p>③遠藤さんの町民に対する思いについて考える。</p>	<p>◎津波で命を落とした娘のことを両親は、どのような思いだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・娘の命は戻ってこない。 ・悲しい。 ・よく最後まで働いてくれた。 ・残念だ。 <p>◎遠藤さんが放送し続けたのは、どういう思いがあったからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人でも多くの人を助けたい。 ・自分が避難の必要性を伝えなければ…。 ・この町を守りたい。 <p><補助発問></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたが遠藤さんだったらどうするか。 ・自分の身が危険な状態だったらどう行動するか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両親の遠藤さんに対する愛情や思いに迫る。 ・遠藤さんの町民に対する思いに触れ、お互いが大切に生きていくことに気付かせる。
	<p>4 人が誇りをもって生きるということについて考える。</p>	<p>◎誇りをもって生きるということは、どういうことなのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のために自分ができていることを考えていくこと。 ・自分のできることを精一杯やってみていくこと。 ・自分を犠牲にすることではなく、みんなが幸せに生きるために最善を尽くすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、ワークシートに考えをまとめる。 ☆考えを交流してきたことをもとに「誇りをもって生きる」ことについて自分の考えを具体的な文でまとめることができたか。
<p>終末</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちの道徳」125ページルソーの「良心は魂の声である」を紹介する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の感じ方を大切に

6 評価の観点

- ・人間としての誇り、心の強さや気高さを考え、記述・発言することができたか。
- ・かけがえのない生命の大切さに対する思いや態度が培われたか。

